

## 国立大学法人岡山大学産学官連携ポリシー

平成16年4月1日

大学の使命は、教育・研究・社会貢献であり、その社会貢献の一形態である産学官連携は、「知」の源泉としての大学が、教育・研究を活性化させ、社会の信頼を得つつ発展するための有益な手段として、積極的に推進させることが必要です。

岡山大学は、21世紀の岡山大学構想の中で「自然と人間の共生」をスローガンとし、学術の成果を「知」の資産として、積極的に社会に還元し、人類社会の福祉と発展に寄与することを掲げており、それを推進するために、次の事項をポリシーとしています。

- 1 学術の成果を産業界等に積極的に技術移転することを通じ、本学における教育と研究の社会的付加価値を高めます。
- 2 本学における知的活動の成果を活用するための組織を置き、産学官連携活動を通じ、我が国産業の国際競争力の向上に貢献します。
- 3 社会における「知」の創造と活用のサイクルの確立とそれに伴う連鎖的な新産業の創出や技術革新を目指します。
- 4 産学官連携活動を効果的に推進し、我が国の経済・社会の発展に貢献します。
- 5 地域産業界や地域公共団体との持続的な連携を目指します。
- 6 教育や研究の実績と同様に産学官連携活動に関する業績についても、適切に評価します。
- 7 透明性の高い産学官連携活動を行い、十分な説明責任を果たします。